

財 務 報 告 書

2025 年度

学校法人 慈惠大学

目 次

以下の各目次をクリックすると、該当ページへ移動することが可能です。

2025 年度決算について

貸借対照表

事業活動収支計算書

資金収支計算書・活動区分収支計算書

注記事項

固定資産明細書

借入金明細書

基本金明細書

収益事業に係る計算書類

財産目録

独立監査人の監査報告書

監事の監査報告書

学校法人慈恵大学計算書 6 年間の推移

主要な財務指標の推移及びグラフ

学校法人会計について

計算書類における主な科目について

2025年度（令和7年度）決算

1. はじめに

2025年度の決算は、社会全体の原材料価格高騰や人不足などから始まったインフレに西部医療センター開院に伴う一時的な支出も含め支出全体が大きく増加した。一方で補助金受領については予算を超える金額となったことから何とか実態黒字17億円を確保できたという全体像である。不可抗力といってもよい物価高騰という厳しい環境の中で何とか踏みとどまったというところである。

（尚、学校法人会計の一部変更により、賞与引当金が導入された、過渡期の移行措置として一時的に過年度修正約39億円を特別損失に計上したが、資金移動もなく実態に影響なし。）

2. 資金収支計算書

施設関係支出は128.4億円、設備関係支出は99.2億円でした。施設関係の主な支出は、建物が19.8億円、第三病院のリニューアルに伴う建設仮勘定108.1億円の支払い、設備関係の主な支出は医療器械66.4億円、システム関連29.2億円の支払いでした。この結果、次年度繰越金は381.0億円と前年度比134億円減少しました。これ以外に本学は換金性の高い有価証券を349.4億円保有している為、前期末の現金預金有価証券残高は730.3億円となります。

3. 事業活動収支計算書

医療収入は1,165.0億円（予算比▲4.8億円）、医療収支（医療収入－医療経費）は636.9億円（予算比▲42.8億円）と予算に届きませんでした。医療収入は前年度比51.4億円増加しましたが、医療経費も物価の高騰を受け薬品費、医療材料費を中とし同様に49.9億円増加しました。医療関連以外の支出も、西部医療センター建替え関連に加え、物価高騰の影響を受け消耗品、委託費、諸経費など前年度に比較し増加しました。一方で、物価高騰や賃金に関する補助金を含め当初見込まれていたよりも大きく超えて補助金を受けることが出来ました。結果として14.7億円の経常利益、17.2億円の最終利益を計上することが出来ました。

4. 貸借対照表

西部医療センターの建物が完成し、建設仮勘定の減少分114.8億円と現預金減少分の一部125.2億円によって建物186.0、医療器械42.3、教具11.7として増加となりました。長期借入金の減少分（約定返済）は現預金の一部利用と長期未払金増加に利用されました。純資産減少分21.5億円は賞与引当金に関する会計処理変更に伴う移行措置の過年度修正分を含めた損益にて発生したものです。西部医療センター完成に伴う固定資産の増加により一部貸借対照表の指標が悪化する部分もありましたが、現時点では安全性、健全性を表す代表的な指標である自己資金比率など主要な指標について引続き良好水準を維持しています。

以 上

貸借対照表

令和8年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	176,602,813,822	161,534,650,943	15,068,162,879
有 形 固 定 資 産	138,821,292,659	126,771,594,210	12,049,698,449
土 地	8,338,900,752	9,049,612,502	△ 710,711,750
建 物	100,995,114,441	82,399,165,290	18,595,949,151
構 築 物	251,968,931	181,473,198	70,495,733
教 育 研 究 用 機 器 備 品	24,966,792,112	19,564,554,623	5,402,237,489
管 理 用 機 器 備 品	1,049,791,358	867,444,433	182,346,925
図 書	2,824,698,741	2,831,859,638	△ 7,160,897
車 両	1	4,565,332	△ 4,565,331
建 設 仮 勘 定	370,864,415	11,849,757,286	△ 11,478,892,871
放 射 性 同 位 元 素	23,161,908	23,161,908	0
特 定 資 産	1,600,000,000	1,600,000,000	0
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産	1,600,000,000	1,600,000,000	0
そ の 他 の 固 定 資 産	36,181,521,163	33,163,056,733	3,018,464,430
差 入 保 証 金	402,084,513	402,084,513	0
有 価 証 券	33,942,127,877	32,153,363,220	1,788,764,657
長 期 貸 付 金	758,169,236	607,609,000	150,560,236
収 益 事 業 元 入 金	1,079,139,537	0	1,079,139,537
流 動 資 産	64,677,146,494	77,032,563,700	△ 12,355,417,206
現 金 預 金	38,099,515,400	51,497,073,979	△ 13,397,558,579
未 収 入 金	23,966,727,184	21,411,025,032	2,555,702,152
貯 蔵 品	1,386,076,916	1,432,845,837	△ 46,768,921
有 価 証 券	1,000,000,000	2,500,000,000	△ 1,500,000,000
仮 払 金	73,706,392	21,953,276	51,753,116
前 払 金	151,120,602	169,665,576	△ 18,544,974
資 産 の 部 合 計	241,279,960,316	238,567,214,643	2,712,745,673
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	41,604,834,865	42,401,573,159	△ 796,738,294
長 期 借 入 金	19,590,730,000	21,282,300,000	△ 1,691,570,000
長 期 未 払 金	1,106,646,600	327,832,894	778,813,706
退 職 給 与 引 当 金	20,907,458,265	20,791,440,265	116,018,000
流 動 負 債	29,851,092,750	24,191,268,639	5,659,824,111
短 期 借 入 金	1,691,570,000	1,306,820,000	384,750,000
未 払 金	23,233,482,079	21,624,302,798	1,609,179,281
前 受 金	607,943,500	653,160,800	△ 45,217,300
預 り 金	637,976,109	605,860,041	32,116,068
保 証 金	1,355,000	1,125,000	230,000
賞 与 引 当 金	3,678,766,062	0	3,678,766,062
負 債 の 部 合 計	71,455,927,615	66,592,841,798	4,863,085,817
純 資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	254,672,188,037	240,767,367,411	13,904,820,626
第 1 号 基 本 金	245,445,112,601	231,914,796,549	13,530,316,052
第 4 号 基 本 金	9,227,075,436	8,852,570,862	374,504,574
繰 越 収 支 差 額	△ 84,848,155,336	△ 68,792,994,566	△ 16,055,160,770
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 84,848,155,336	△ 68,792,994,566	△ 16,055,160,770
純 資 産 の 部 合 計	169,824,032,701	171,974,372,845	△ 2,150,340,144
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	241,279,960,316	238,567,214,643	2,712,745,673

事業活動収支計算書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

(単位：円)

		科 目	予 算	決 算	差 異		
教 育 活 動 部	事 業 活 動 収 入	学生生徒等納付金	2,951,430,000	2,976,300,100	△ 24,870,100		
		授業料	2,059,500,000	2,046,150,100	13,349,900		
		入学金	158,300,000	209,200,000	△ 50,900,000		
		施設設備資金	711,100,000	698,100,000	13,000,000		
		実習料	22,530,000	22,850,000	△ 320,000		
		手数料	143,805,000	132,499,000	11,306,000		
		入学検定料	133,830,000	121,580,000	12,250,000		
		試験料	1,675,000	1,851,000	△ 176,000		
		証明手数料	800,000	768,000	32,000		
		その他の手数料	7,500,000	8,300,000	△ 800,000		
		寄付金	614,187,000	713,635,226	△ 99,448,226		
		特別寄付金	129,237,000	118,254,305	10,982,695		
		一般寄付金	484,950,000	595,380,921	△ 110,430,921		
		経常費等補助金	3,933,472,000	6,424,884,940	△ 2,491,412,940		
		国庫補助金	3,461,995,000	4,812,528,933	△ 1,350,533,933		
		地方公共団体補助金	468,077,000	1,610,156,007	△ 1,142,079,007		
		学術研究振興資金	3,400,000	2,200,000	1,200,000		
		付随事業収入	118,671,955,000	118,402,772,371	269,182,629		
		動 部	の 雑 収 入	医療収入	116,975,507,000	116,496,894,743	478,612,257
				受託事業収入	1,696,448,000	1,905,877,628	△ 209,429,628
雑収入	1,413,290,000			1,610,253,575	△ 196,963,575		
施設設備利用料	76,528,000			80,371,718	△ 3,843,718		
廃品売却収入	530,000			31,897,749	△ 31,367,749		
私立大学退職金財団交付金収入	249,497,000			238,837,300	10,659,700		
その他の雑収入	1,086,735,000			1,249,938,093	△ 163,203,093		
徴収不能引当金戻入額	0			9,208,715	△ 9,208,715		
教育活動収入計				127,728,139,000	130,260,345,212	△ 2,532,206,212	
支 出 部	事 業 活 動 支 出			人件費	45,166,331,000	45,189,230,634	△ 22,899,634
		教員人件費	13,098,356,000	11,859,149,923	1,239,206,077		
		職員人件費	30,083,751,000	27,436,423,679	2,647,327,321		
		役員報酬	132,225,000	133,554,470	△ 1,329,470		
		退職給与引当金繰入額	1,851,999,000	2,081,336,500	△ 229,337,500		
		賞与引当金繰入額	0	3,678,766,062	△ 3,678,766,062		
		教育研究経費	76,679,503,000	78,896,045,076	△ 2,216,542,076		
		教育研究経費	23,750,244,000	23,085,551,331	664,692,669		
		消耗品費	2,404,733,000	2,375,814,656	28,918,344		
		光熱水費	2,513,272,000	2,219,589,660	293,682,340		
		旅費交通費	181,279,000	208,653,312	△ 27,374,312		
		奨学費	97,902,000	167,974,571	△ 70,072,571		
		委託費	8,723,276,000	8,544,606,193	178,669,807		
		印刷製本費	27,429,000	25,828,848	1,600,152		
		通信運搬費	391,261,000	270,132,235	121,128,765		

教 育 活 動 支 出 の 部	事 業 活 動 支 出 の 部	修繕費	979,815,000	1,071,593,134	△	91,778,134
		諸会費	84,857,000	95,935,866	△	11,078,866
		会議費	4,114,000	3,526,212		587,788
		賃借料	1,208,806,000	1,269,967,096	△	61,161,096
		雑費	1,037,128,000	590,204,343		446,923,657
		減価償却額	6,096,372,000	6,241,725,205	△	145,353,205
		医療経費	52,929,259,000	55,810,493,745	△	2,881,234,745
		消耗品費	48,956,262,000	52,755,401,000	△	3,799,139,000
		修繕費	557,881,000	599,648,519	△	41,767,519
		雑費	42,633,000	47,427,866	△	4,794,866
		減価償却額	3,372,483,000	2,408,016,360		964,466,640
		管理経費	5,816,727,000	5,015,122,026		801,604,974
		消耗品費	386,408,000	305,773,756		80,634,244
		光熱水費	539,920,000	409,904,848		130,015,152
		旅費交通費	17,366,000	18,663,622	△	1,297,622
		委託費	1,830,504,000	1,574,834,011		255,669,989
		印刷製本費	1,226,000	310,480		915,520
		通信運搬費	106,103,000	79,912,758		26,190,242
		修繕費	186,880,000	190,855,424	△	3,975,424
		諸会費	193,115,000	161,614,332		31,500,668
		会議費	983,000	571,966		411,034
		保険料	124,774,000	124,224,620		549,380
		賃借料	288,738,000	268,247,958		20,490,042
		公租公課	396,472,000	412,587,634	△	16,115,634
		広告費	34,270,000	32,296,522		1,973,478
		福利厚生費	192,414,000	158,245,409		34,168,591
		雑費	648,906,000	504,331,016		144,574,984
経常費補助金返還	0	866,000	△	866,000		
減価償却額	868,648,000	771,881,670		96,766,330		
徴収不能額等	29,000,000	24,180,199		4,819,801		
徴収不能引当金繰入額	29,000,000	24,180,199		4,819,801		
教育活動支出計		127,691,561,000	129,124,577,935	△	1,433,016,935	
教育活動収支差額		36,578,000	1,135,767,277	△	1,099,189,277	
教 育 活 動 外 収 支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異	
		受取利息・配当金	425,825,000	523,443,569	△ 97,618,569	
		その他の受取利息・配当金	425,825,000	523,443,569	△ 97,618,569	
		その他の教育活動外収入	7,580,000	7,036,942	543,058	
		収益事業収入	7,580,000	7,036,942	543,058	
	教育活動外収入計		433,405,000	530,480,511	△ 97,075,511	
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異	
		借入金等利息	199,410,000	197,922,121	1,487,879	
		借入金利息	199,410,000	197,922,121	1,487,879	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計		199,410,000	197,922,121	1,487,879		
教育活動外収支差額		233,995,000	332,558,390	△ 98,563,390		
経常収支差額		270,573,000	1,468,325,667	△ 1,197,752,667		

特 別 收 支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	0	382,214,100	△ 382,214,100
有価証券売却差額	0	382,214,100	△ 382,214,100		
その他の特別収入	145,625,000	312,667,406	△ 167,042,406		
施設設備特別寄付金	70,000,000	66,000,000	4,000,000		
現物寄付	0	38,135,406	△ 38,135,406		
施設設備補助金	75,625,000	208,532,000	△ 132,907,000		
特別収入計	145,625,000	694,881,506	△ 549,256,506		
事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
	資産処分差額	220,895,000	109,088,080	111,806,920	
その他処分差額	220,895,000	109,088,080	111,806,920		
その他の特別支出	0	4,204,459,237	△ 4,204,459,237		
過年度修正額	0	4,204,459,237	△ 4,204,459,237		
特別支出計	220,895,000	4,313,547,317	△ 4,092,652,317		
特別収支差額	△ 75,270,000	△ 3,618,665,811	3,543,395,811		
基本金組入前当年度収支差額	195,303,000	△ 2,150,340,144	2,345,643,144		
基本金組入額合計	△ 10,823,846,000	△ 13,904,820,626	3,080,974,626		
当年度収支差額	△ 10,628,543,000	△ 16,055,160,770	5,426,617,770		
前年度繰越収支差額	△ 68,792,994,566	△ 68,792,994,566	0		
基本金取崩額	0	0	0		
翌年度繰越収支差額	△ 79,421,537,566	△ 84,848,155,336	5,426,617,770		

(参考)

事業活動収入計	128,307,169,000	131,485,707,229	△ 3,178,538,229
事業活動支出計	128,111,866,000	133,636,047,373	△ 5,524,181,373

資 金 収 支 計 算 書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

(単位：円)

収 入 の 部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	2,951,430,000	2,976,300,100	△	24,870,100
授 業 料 収 入	2,059,500,000	2,046,150,100		13,349,900
入 学 金 収 入	158,300,000	209,200,000	△	50,900,000
施 設 設 備 資 金 収 入	711,100,000	698,100,000		13,000,000
実 習 料 収 入	22,530,000	22,850,000	△	320,000
手 数 料 収 入	143,805,000	132,499,000		11,306,000
入 学 検 定 料 収 入	133,830,000	121,580,000		12,250,000
試 験 料 収 入	1,675,000	1,851,000	△	176,000
証 明 手 数 料 収 入	800,000	768,000		32,000
そ の 他 の 手 数 料 収 入	7,500,000	8,300,000	△	800,000
寄 付 金 収 入	684,187,000	779,635,226	△	95,448,226
特 別 寄 付 金 収 入	199,237,000	184,254,305		14,982,695
一 般 寄 付 金 収 入	484,950,000	595,380,921	△	110,430,921
補 助 金 収 入	4,009,097,000	6,633,416,940	△	2,624,319,940
国 庫 補 助 金 収 入	3,501,995,000	4,838,249,933	△	1,336,254,933
地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入	503,702,000	1,792,967,007	△	1,289,265,007
学 術 研 究 振 興 資 金 収 入	3,400,000	2,200,000		1,200,000
資 産 売 却 収 入	0	393,450,000	△	393,450,000
有 価 証 券 売 却 収 入	0	393,450,000	△	393,450,000
付 随 事 業 ・ 収 益 事 業 収 入	118,679,535,000	118,409,809,313		269,725,687
医 療 収 入	116,975,507,000	116,496,894,743		478,612,257
受 託 事 業 収 入	1,696,448,000	1,905,877,628	△	209,429,628
収 益 事 業 収 入	7,580,000	7,036,942		543,058
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	425,825,000	523,443,569	△	97,618,569
そ の 他 の 受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	425,825,000	523,443,569	△	97,618,569
雑 収 入	1,413,290,000	1,601,485,656	△	188,195,656
施 設 設 備 利 用 料 収 入	76,528,000	80,371,718	△	3,843,718
廃 品 売 却 収 入	530,000	31,897,749	△	31,367,749
私 立 大 学 退 職 金 財 団 交 付 金 収 入	249,497,000	238,837,300		10,659,700
そ の 他 の 雑 収 入	1,086,735,000	1,250,378,889	△	163,643,889
借 入 金 等 収 入	0	0		0

科 目	予 算	決 算	差 異
前 受 金 収 入	653,561,000	591,063,500	62,497,500
授 業 料 前 受 金 収 入	413,400,000	357,400,000	56,000,000
入 学 金 前 受 金 収 入	207,800,000	226,900,000	△ 19,100,000
施 設 設 備 資 金 前 受 金 収 入	20,800,000	0	20,800,000
実 習 料 前 受 金 収 入	8,370,000	3,630,000	4,740,000
そ の 他 の 前 受 金 収 入	3,191,000	3,133,500	57,500
そ の 他 の 収 入	24,163,005,000	28,174,779,881	△ 4,011,774,881
前 期 未 未 収 入 金 収 入	21,411,025,000	21,394,933,014	16,091,986
有 価 証 券 償 還 収 入	2,000,000,000	6,000,000,000	△ 4,000,000,000
差 入 保 証 金 返 還 収 入	50,000	0	50,000
貸 付 金 回 収 収 入	41,380,000	45,067,964	△ 3,687,964
預 り 金 受 入 収 入	493,627,000	525,743,301	△ 32,116,301
保 証 金 受 入 収 入	3,750,000	4,030,000	△ 280,000
仮 払 金 受 入 収 入	213,173,000	205,005,602	8,167,398
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 21,032,038,000	△ 24,754,049,450	3,722,011,450
期 末 未 収 入 金	△ 20,378,477,000	△ 24,117,768,650	3,739,291,650
前 期 未 前 受 金	△ 653,561,000	△ 636,280,800	△ 17,280,200
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	51,497,073,979	51,497,073,979	
収 入 の 部 合 計	183,588,770,979	186,958,907,714	△ 3,370,136,735

支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	45,654,455,000	45,261,044,095	393,410,905
教 員 人 件 費 支 出	13,098,356,000	12,973,224,404	125,131,596
職 員 人 件 費 支 出	30,083,751,000	30,188,946,721	△ 105,195,721
役 員 報 酬 支 出	132,225,000	133,554,470	△ 1,329,470
退 職 金 支 出	2,340,123,000	1,965,318,500	374,804,500
教 育 研 究 経 費 支 出	67,289,746,680	70,199,534,590	△ 2,909,787,910
(教 育 研 究 経 費 支 出)	17,720,152,982	16,843,826,126	876,326,856
消 耗 品 費 支 出	2,449,980,544	2,375,814,656	74,165,888
光 熱 水 費 支 出	2,513,272,000	2,219,589,660	293,682,340
旅 費 交 通 費 支 出	184,215,181	208,653,312	△ 24,438,131
奨 学 費 支 出	99,902,000	167,974,571	△ 68,072,571
委 託 費 支 出	8,725,437,013	8,544,606,193	180,830,820
印 刷 製 本 費 支 出	27,429,000	25,828,848	1,600,152
通 信 運 搬 費 支 出	392,795,813	270,132,235	122,663,578
修 繕 費 支 出	981,906,464	1,071,593,134	△ 89,686,670
諸 会 費 支 出	84,862,234	95,935,866	△ 11,073,632
会 議 費 支 出	4,114,000	3,526,212	587,788
賃 借 料 支 出	1,209,003,381	1,269,967,096	△ 60,963,715
雑 費 支 出	1,047,235,352	590,204,343	457,031,009

科 目	予 算	決 算	差 異
(医 療 経 費 支 出)	49,569,593,698	53,355,708,464	△ 3,786,114,766
消 耗 品 費 支 出	48,969,079,698	52,708,632,079	△ 3,739,552,381
修 繕 費 支 出	557,881,000	599,648,519	△ 41,767,519
雑 費 支 出	42,633,000	47,427,866	△ 4,794,866
管 理 経 費 支 出	4,971,874,639	4,252,932,931	718,941,708
消 耗 品 費 支 出	392,380,410	305,773,756	86,606,654
光 熱 水 費 支 出	539,920,000	411,313,086	128,606,914
旅 費 交 通 費 支 出	17,795,455	18,663,622	△ 868,167
委 託 費 支 出	1,830,820,077	1,576,223,647	254,596,430
印 刷 製 本 費 支 出	1,226,000	310,480	915,520
通 信 運 搬 費 支 出	106,327,487	81,084,258	25,243,229
修 繕 費 支 出	186,880,000	195,203,460	△ 8,323,460
諸 会 費 支 出	193,115,766	161,614,332	31,501,434
会 議 費 支 出	983,000	571,966	411,034
保 険 料 支 出	130,297,248	124,248,404	6,048,844
賃 借 料 支 出	288,766,869	268,247,958	20,518,911
公 租 公 課 支 出	396,472,000	413,466,015	△ 16,994,015
広 告 費 支 出	34,270,000	32,296,522	1,973,478
福 利 厚 生 費 支 出	192,414,000	158,245,409	34,168,591
雑 費 支 出	659,340,327	504,804,016	154,536,311
私立大学等経常費補助金返還金支出	866,000	866,000	0
借 入 金 等 利 息 支 出	199,410,000	197,922,121	1,487,879
借 入 金 利 息 支 出	199,410,000	197,922,121	1,487,879
借 入 金 等 返 済 支 出	1,306,820,000	1,306,820,000	0
借 入 金 返 済 支 出	1,306,820,000	1,306,820,000	0
施 設 関 係 支 出	12,022,876,000	12,843,583,159	△ 820,707,159
建 物 支 出	2,228,712,000	1,977,839,189	250,872,811
構 築 物 支 出	93,000,000	60,439,500	32,560,500
建 設 仮 勘 定 支 出	9,701,164,000	10,805,304,470	△ 1,104,140,470
設 備 関 係 支 出	12,591,947,937	9,918,544,680	2,673,403,257
教 育 研 究 用 機 器 備 品 支 出	12,139,752,937	9,555,489,328	2,584,263,609
管 理 用 機 器 備 品 支 出	417,125,000	334,744,388	82,380,612
図 書 支 出	35,070,000	28,310,964	6,759,036
資 産 運 用 支 出	2,000,000,000	6,300,000,557	△ 4,300,000,557
有 価 証 券 購 入 支 出	2,000,000,000	6,300,000,557	△ 4,300,000,557
そ の 他 の 支 出	22,388,074,000	22,919,988,819	△ 531,914,819
貸 付 金 支 払 支 出	145,023,000	195,628,200	△ 50,605,200
前 期 未 払 金 支 払 支 出	21,624,303,000	21,948,719,642	△ 324,416,642
仮 払 金 支 払 支 出	205,006,000	238,213,744	△ 33,207,744

科 目	予 算	決 算	差 異
預り金支払支出	410,202,000	493,627,233	△ 83,425,233
保証金支払支出	3,490,000	3,800,000	△ 310,000
差入保証金支出	50,000	0	50,000
収益事業元入金支出	0	40,000,000	△ 40,000,000
[予 備 費]	(434,189,256)		
	265,810,744		265,810,744
資金支出調整勘定	△ 20,944,902,000	△ 24,340,978,638	3,396,076,638
期末未払金	△ 20,944,902,000	△ 24,340,978,638	3,396,076,638
翌年度繰越支払資金	35,842,657,979	38,099,515,400	△ 2,256,857,421
支出の部合計	183,588,770,979	186,958,907,714	△ 3,370,136,735

注) 予備費の振替科目及びその金額

教育研究経費支出	66,280,982
医療経費支出	12,817,698
管理経費支出	23,795,639
施設関係支出	36,432,000
設備関係支出	254,862,937
その他の支出	40,000,000
合 計	434,189,256

活動区分資金収支計算書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

(単位：円)

科		目	金 額	
教育活動による資金収支	収 入	学生生徒等納付金収入	2,976,300,100	
		手数料収入	132,499,000	
		特別寄付金収入	118,254,305	
		一般寄付金収入	595,380,921	
		経常費等補助金収入	6,424,884,940	
		付随事業収入	118,402,772,371	
		医療収入	116,496,894,743	
		受託事業収入	1,905,877,628	
		雑収入	1,601,485,656	
		施設設備利用料収入	80,371,718	
		廃品売却収入	31,897,749	
		私立大学退職金財団交付金収入	238,837,300	
		その他の雑収入	1,250,378,889	
			教育活動資金収入計	130,251,577,293
支 出	人件費支出		45,261,044,095	
	教育研究経費支出		70,199,534,590	
	教育研究経費支出		16,843,826,126	
	医療経費支出		53,355,708,464	
	管理経費支出		4,252,932,931	
			教育活動資金支出計	119,713,511,616
		差 引	10,538,065,677	
		調 整 勘 定 等	△ 3,516,359,812	
		教育活動資金収支差額	7,021,705,865	
施設整備等活動による資金収支	科		目	
	収 入	施設設備寄付金収入		66,000,000
		施設設備補助金収入		208,532,000
				施設整備等活動資金収入計
	支 出	施設関係支出		12,843,583,159
		設備関係支出		9,918,544,680
				施設整備等活動資金支出計
			差 引	△ 22,487,595,839
		調 整 勘 定 等	3,140,565,872	
		施設整備等活動資金収支差額	△ 19,347,029,967	
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 12,325,324,102	

(単位：円)

		科 目	金 額
その 他 の 活 動 に よ る 資 金 収 支	収 入	有 価 証 券 売 却 収 入	393,450,000
		有 価 証 券 償 還 収 入	6,000,000,000
		貸 付 金 回 収 収 入	45,067,964
		預 り 金 受 入 収 入	525,743,301
		保 証 金 受 入 収 入	4,030,000
		仮 払 金 受 入 収 入	205,005,602
		小 計	7,173,296,867
	受 取 利 息・配 当 金 収 入	受 取 利 息・配 当 金 収 入	523,443,569
		収 益 事 業 収 入	7,036,942
		そ の 他 の 活 動 資 金 収 入 計	7,703,777,378
	支 出	借 入 金 等 返 済 支 出	1,306,820,000
		有 価 証 券 購 入 支 出	6,300,000,557
		貸 付 金 支 払 支 出	195,628,200
		仮 払 金 支 払 支 出	238,213,744
預 り 金 支 払 支 出		493,627,233	
保 証 金 支 払 支 出		3,800,000	
収 益 事 業 元 入 金 支 出		40,000,000	
小 計		8,578,089,734	
借 入 金 等 利 息 支 出	197,922,121		
そ の 他 の 活 動 資 金 支 出 計	8,776,011,855		
差 引		△ 1,072,234,477	
調 整 勘 定 等		0	
そ の 他 の 活 動 資 金 収 支 差 額		△ 1,072,234,477	
支 払 資 金 の 増 減 額 (小 計 + そ の 他 の 活 動 資 金 収 支 差 額)		△ 13,397,558,579	
前 年 度 繰 越 支 払 資 金		51,497,073,979	
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金		38,099,515,400	

活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位：円)

調 整 勘 定 等 の 内 訳				
項 目	資金収支計算書計上額	教育活動による資金収支	施設整備等活動による資金収支	その他の活動による資金収支
前 受 金 収 入	591,063,500	591,063,500	0	0
前期末未収入金収入	21,394,933,014	21,294,256,014	100,677,000	0
期 末 未 収 入 金	△ 24,117,768,650	△ 23,969,578,650	△ 148,190,000	0
前 期 末 前 受 金	△ 636,280,800	△ 636,280,800	0	0
収 入 計	△ 2,768,052,936	△ 2,720,539,936	△ 47,513,000	0
前期末未払金支払支出	21,948,719,642	20,440,925,277	1,507,794,365	0
期 末 未 払 金	△ 24,340,978,638	△ 19,645,105,401	△ 4,695,873,237	0
支 出 計	△ 2,392,258,996	795,819,876	△ 3,188,078,872	0
収 入 計 - 支 出 計	△ 375,793,940	△ 3,516,359,812	3,140,565,872	0

1. 引当金の計上基準その他の計算書類の作成に関する重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

…未収入金の徴収不能に備えるため、徴収不能実績率等により徴収不能見込額を計上している。

賞与引当金

…役員及び教職員に対する賞与の支給に備えるため、当年度に負担すべき見込額を計上している。

退職給与引当金

…退職金の支給に備えるため、期末要支給額20,872,606,900円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

…満期保有目的有価証券の評価基準は償却原価法である。

…有価証券の評価基準及び評価方法は移動平均法に基づく原価法である。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

…先入先出法に基づく原価法である。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

…預り金に係る収入と支出は総額で表示している。

減価償却の方法等について

…残存価額を零とする定額法による減価償却を実施している。なお、主な耐用年数は以下のとおりである。

建物	50年
構築物	15年
機器備品	10年

2. 重要な会計方針の変更等

(1) 改正後の学校法人会計基準（昭和46年文部省令第18号）の適用

当年度から、学校法人会計基準の一部を改正する省令（令和6年文部科学省令第28号）に基づく改正後の学校法人会計基準を適用し、計算書類及びその附属明細書の様式を変更している。

(2) 賞与引当金の計上

学校法人会計基準の改正により、引当金の計上基準が明確化されたことに伴い、当年度から計上している。これにより期首に計上すべき額として特別収支に3,866,597,523円を計上し、当年度に賞与として支給した額から特別収支の計上額を除いた額及び支給は翌年度であるが当年度の支給対象期間に相応する額として人件費に6,542,931,150円を計上している。

この結果、従来の方と比較して教育活動収支差額、経常収支差額が187,831,461円増加し、基本金組入前当年度収支差額が3,678,766,062円減少している。

3. 固定資産の減価償却額の累計額の合計額

112,105,301,929円

4. 金銭債権の徴収不能引当金の合計額

130,866,068円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土地	1,878,422,728円
建物	56,117,837,190円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

5,481,481,987円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. セグメント情報

(単位：円)

科 目	東京慈恵会医科大学		看護専門学校	そ の 他	合 計
	部 門	うち、医学部等 及び附属病院			
教育活動収入計	129,792,130,146	120,368,784,334	223,403,418	244,811,648	130,260,345,212
教育活動支出計	126,229,992,181	109,320,738,220	542,597,382	2,351,988,372	129,124,577,935
教育活動収支差額	3,562,137,965	11,048,046,114	△ 319,193,964	△ 2,107,176,724	1,135,767,277
教育活動外収支差額	317,356,872	279,926,129	0	15,201,518	332,558,390
経常収支差額	3,879,494,837	11,327,972,243	△ 319,193,964	△ 2,091,975,206	1,468,325,667
特別収支差額	202,582,726	137,895,830	0	△ 3,821,248,537	△ 3,618,665,811
基本金組入前当年度収支差額	4,082,077,563	11,465,868,073	△ 319,193,964	△ 5,913,223,743	△ 2,150,340,144
基本金組入額合計	△ 14,604,974,820	△ 14,401,431,239	△ 54,735,915	754,890,109	△ 13,904,820,626
当年度収支差額	△ 10,522,897,257	△ 2,935,563,166	△ 373,929,879	△ 5,158,333,634	△ 16,055,160,770

(注1) セグメント情報は拠点区分別(設置学校・附属施設別)の収支情報の内訳を示すものであり、必ずしも理事会が経営資源の配分の決定及び業績を評価すること等を目的とした財務情報にはなっていない。

(注2) 各セグメントの主な区分方法は、拠点区分に応じて「東京慈恵会医科大学」「看護専門学校」「その他」に区分している。「うち、医学部等及び附属病院」には、医学部及びこれらの学部と一体的に取り扱う附属病院(本院)、葛飾医療センター、西部医療センター、柏病院を含んでいる。「看護専門学校」には、第三看護専門学校、柏看護専門学校を含んでいる。「その他」は学校法人部門である。

(注3) 収入額及び支出額の各セグメントへの配分方法は、昭和55年11月4日付け文管企第250号文部省管理局長通知「資金収支内訳表等の部門別計上及び配分について(通知)」に記載の方法を適用している。

9. 重要な偶発債務

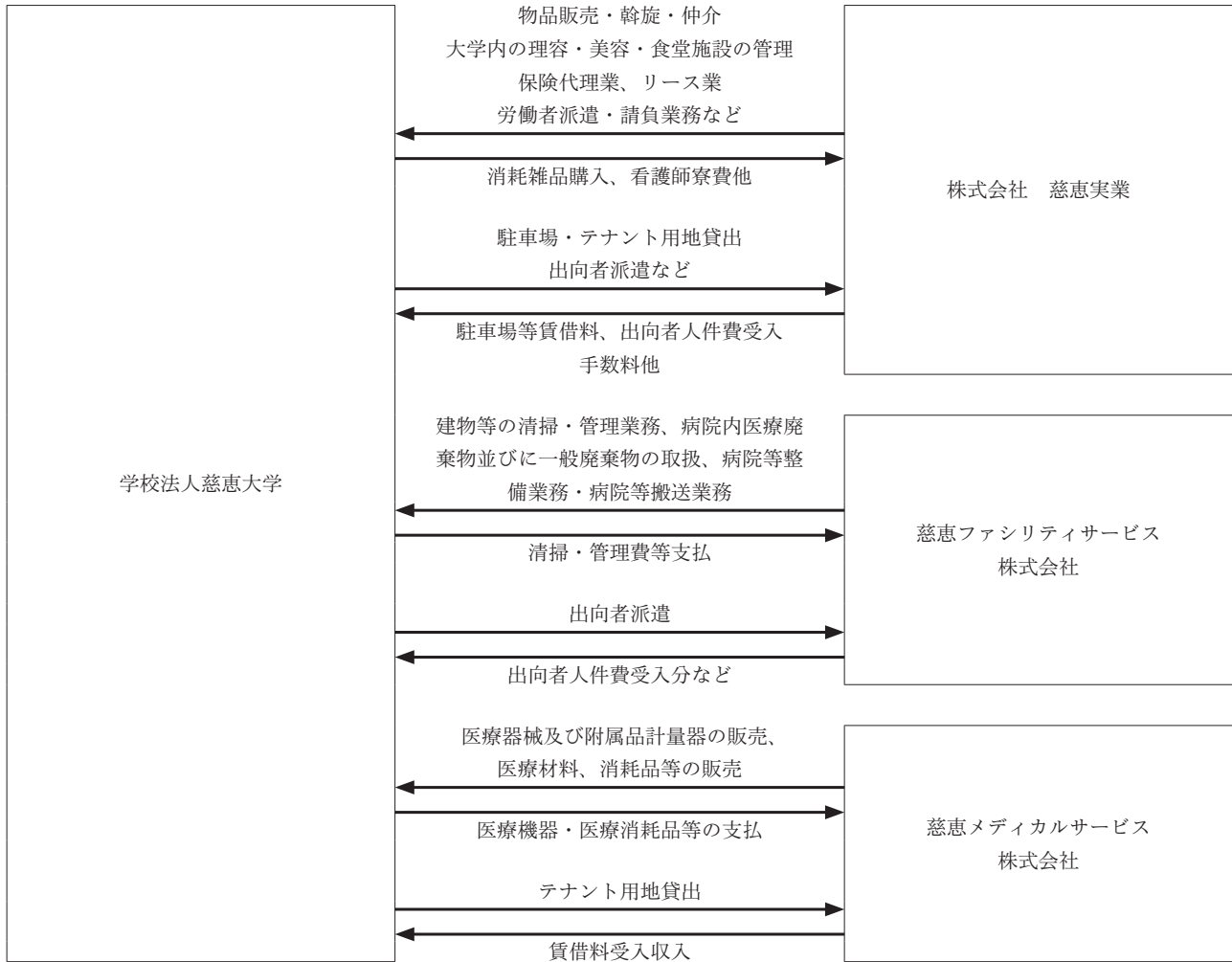
該当なし

10. 子法人に関する事項

(1) 子法人の概要

子法人 の名称	事 業 内 容	資本金の額	学校法人の出資金額等及び当該 会社の総株式等に占める割合並 びに当該株式等の入手日	議決権 の所有 割 合	役員 の兼 任等	他の注記事項との関係		
						出資 会社	関 連 当事者	学校法人 間 取 引
株式会社 慈恵実業	物品販売・斡旋・仲介、 慈恵大学内の理容・美 容・食堂施設の管理、保 険代理業、リース業、労 働者派遣・請負業務など	3,000万円 60,000株	昭和51年2月28日 3,000万円 60,000株 総出資金額に占める割合 100%	100%	4名	関係 あり	関係 あり	
慈恵ファシ リティサー ビス株式会 社	建物等の清掃・管理業 務、病院内医療廃棄物並 びに一般廃棄物の取扱、 病院等整備業務・病院等 搬送業務	3,000万円	当学校法人の出資割合が2分の 1以上である株式会社慈恵実業 の子会社である	100%	1名		関係 あり	
慈恵メディ カルサービ ス株式会 社	医療器械及び附属品計 量器の販売、医療材料、消 耗品等の販売	2,500万円	当学校法人の出資割合が2分の 1以上である株式会社慈恵実業 の子会社である	100%	2名		関係 あり	

(2) 学校法人と子法人の取引の関連図



(3) 子法人との取引の状況

子法人の名称	取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
株式会社慈恵実業	駐車場等賃借料	127,420,701円	未収入金	34,195円
	手数料他	23,245,462円		
	出向者人件費受入分	87,969,574円		
	消耗雑品購入	19,801,936,455円	未払金	
	看護師寮費他	147,099,397円		
慈恵ファシリティサービス株式会社	清掃、管理費等の支払（注1）	1,524,417,461円	未払金	93,986,751円
	出向者人件費等受入収入	72,447,137円	—	—
慈恵メディカルサービス株式会社	医療機器・医療消耗品等の支払（注2）	3,961,623,976円	未払金	92,124,175円
	賃借料等受入収入	21,665,937円	未収入金	8,730円

(注1) 慈恵ファシリティサービス(株)への清掃、管理費等の支払については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定している。

(注2) 慈恵メディカルサービス(株)への支払については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定している。

(4) 子法人の債務に係る保証債務

学校法人は子法人について債務保証を行っていない。

11. 学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

(1) 当該会社の概要

法人の名称	事業内容	資本金の額	学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	他の注記事項との関係		
				子法人	関連当事者	学校法人間取引
株式会社慈恵実業	省略	省略	省略	関係あり	関係あり	

(2) 当期中に学校法人が該会社から受け入れた配当及び寄付の金額並びにその他の取引の額

法人の名称	取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
株式会社慈恵実業	省略	省略	省略	省略

12. 関連当事者との取引の内容に関する事項

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	役員・法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高	他の注記事項との関係		
						役員の兼任等	事業上の関係					子法人	出資会社	学校法人間取引
関係法人	公益社団法人東京慈恵会(注1)	東京都港区	—	看護師養成事業、医学研究事業	—	3名	卒業生の大半を本学の附属病院に受け入れている	会費の支払(注2)	150,000,000円	—	—			
関係法人	株式会社慈恵実業	東京都港区	3,000万円 60,000株	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略
関係法人	慈恵ファシリティーサービス株式会社	東京都港区	3,000万円	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略
関係法人	慈恵メディカルサービス株式会社	東京都港区	2,500万円	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略	省略
関係法人	株式会社スパインテック	東京都港区	1,000万円	医療器械の製造販売に向けた商品開発	8%	3名	商品開発支援	長期貸付金	40,000,000円	長期貸付金	120,000,000円			
								賃借料等受入収入	1,015,000円	—	—			

(注1) 当学校法人の役員及び教員が公益社団法人東京慈恵会の役員の25.0%を占めている。

(注2) 公益社団法人東京慈恵会への会費の支払については、同法人の財政状況等を勘案し金額を決定している。

13. 学校法人間の財務取引

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報

①総括表

(単位：円)

種 類	当年度（令和8年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの（注1）	811,327,877	1,235,000,224	423,672,347
（うち満期保有目的の債券）	(800,000,000)	(800,960,000)	(960,000)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの（注2）	34,100,000,000	32,920,060,600	△ 1,179,939,400
（うち満期保有目的の債券）	(34,100,000,000)	(32,920,060,600)	(△ 1,179,939,400)
合 計	34,911,327,877	34,155,060,824	△ 756,267,053
（うち満期保有目的の債券）	(34,900,000,000)	(33,721,020,600)	(△ 1,178,979,400)
時価のない有価証券	30,800,000		
有価証券合計	34,942,127,877		

(注1) 三井住友フィナンシャルグループ株式会社（貸借対照表計上額11,327,877円）、社債、ユーロ円債を計上している。

(注2) 社債、ユーロ円債を計上している。

②明細表

(単位：円)

種 類	当年度（令和8年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	34,900,000,000	33,721,020,600	△ 1,178,979,400
株式	11,327,877	434,040,224	422,712,347
投資信託	—	—	—
その他	—	—	—
合 計	34,911,327,877	34,155,060,824	△ 756,267,053
時価のない有価証券	30,800,000		
有価証券合計	34,942,127,877		

(2) デリバティブ取引

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

該当なし

(3) 主な外貨建資産・負債

該当なし

(4) 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の種類 リース料総額 未経過リース料期末残高

管理用機器備品 963,600円 256,960円

(5) 純額で表示した補助活動に係る収支

該当なし

固定資産明細書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

(単位：円)

	科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	期 末 残 高	減価償却額の累計額	差 引 期 末 残 高	摘 要
有 形 固 定 資 産	土 地	9,049,612,502	0	710,711,750	8,338,900,752	/	8,338,900,752	
	建 物	171,112,909,203	23,989,270,749	995,674,652	194,106,505,300	93,111,390,859	100,995,114,441	第三病院リニューアル工事他
	構 築 物	695,940,552	104,375,976	38,060,500	762,256,028	510,287,097	251,968,931	
	教育研究用機器備品	36,525,560,835	(注1) 9,592,407,230	3,839,600,366	42,278,367,699	17,311,575,587	24,966,792,112	教育用・医療機器購入及び除去
	管理用機器備品	1,456,238,007	334,744,388	56,579,870	1,734,402,525	684,611,167	1,049,791,358	
	図 書	2,831,859,638	(注1) 28,411,013	35,571,910	2,824,698,741	/	2,824,698,741	
	車 両	18,970,960	0	14,826,660	4,144,300	4,144,299	1	
	建設仮勘定	11,849,757,286	10,805,304,470	22,284,197,341	370,864,415	/	370,864,415	第三病院リニューアル工事他
	放射性同位元素	23,161,908	0	0	23,161,908	/	23,161,908	
	計	233,564,010,891	44,854,513,826	27,975,223,049	250,443,301,668	111,622,009,009	138,821,292,659	
特 定 資 産	退職給与引当特定資産	1,600,000,000	0	0	1,600,000,000	/	1,600,000,000	
	計	1,600,000,000	0	0	1,600,000,000	/	1,600,000,000	
そ の 他 の 固 定 資 産	差 入 保 証 金	402,084,513	0	0	402,084,513	/	402,084,513	
	有 価 証 券	32,153,363,220	6,303,750,557	4,514,985,900	33,942,127,877	/	33,942,127,877	債券等
	長 期 貸 付 金	607,609,000	195,628,200	45,067,964	758,169,236	/	758,169,236	
	ソ フ ト ウ ェ ア	483,292,920	0	0	483,292,920	483,292,920	0	
	収 益 事 業 元 入 金	0	1,079,139,537	0	1,079,139,537	/	1,079,139,537	
	計	33,646,349,653	7,578,518,294	4,560,053,864	36,664,814,083	483,292,920	36,181,521,163	
合計		268,810,360,544	52,433,032,120	32,535,276,913	288,708,115,751	112,105,301,929	176,602,813,822	

(注1) 上記のうち贈与による増加額 教育研究用機器備品 38,035,357 円
図 書 100,049 円

借入金明細書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

(単位：円)

借 入 先		期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	期 末 残 高	返 済 期 限	摘 要	
長期 借入金	公 的 金 融 機 関	2,722,150,000	0	※ 277,770,000	2,444,380,000	令和16.9.15～令和17.9.15	設 備 資 金	土 地 建 物 担 保
	市 中 金 融 機 関	18,560,150,000	0	※ 1,413,800,000	17,146,350,000	令和13.6.30～令和18.6.30	設 備 資 金	土 地 建 物 担 保
	計	21,282,300,000	0	※ 1,691,570,000	19,590,730,000			
短期 借入金	公 的 金 融 機 関	0	0	0	0			
	市 中 金 融 機 関	0	0	0	0			
	小 計	0	0	0	0			
	返済期限が1年以内の長期借入金	1,306,820,000	※ 1,691,570,000	1,306,820,000	1,691,570,000			
	計	1,306,820,000	※ 1,691,570,000	1,306,820,000	1,691,570,000			
合 計		22,589,120,000	※ 1,691,570,000	※ 1,691,570,000	21,282,300,000			

(注) ※印は、1年以内返済予定の金額を短期借入金へ振替えたものである。

基本金明細書

令和7年4月1日から
令和8年3月31日まで

(単位：円)

事 項	要 組 入 高	組 入 高	未 組 入 高	摘 要
第 1 号 基 本 金				
前期繰越高	234,539,907,027	231,914,796,549	2,625,110,478	
当期組入対象額				
1. 建 物	23,989,270,749	21,514,146,206	2,475,124,543	未払金、借入金
同上に係る建設仮勘定からの振替高	△ 22,076,331,560	△ 22,076,331,560		
過年度未組入れに係る当期組入れ		696,654,642	△ 696,654,642	
過年度基本金組入れの繰延額	△ 492,603,216	△ 492,603,216		
2. 構 築 物	104,375,976	48,336,476	56,039,500	未払金
建設仮勘定からの振替高	△ 43,936,476	△ 43,936,476		
3. 教育研究用機器備品	9,592,407,230	7,482,986,627	2,109,420,603	未払金
過年度未組入れに係る当期組入れ		1,159,016,276	△ 1,159,016,276	
4. 管理用機器備品	334,744,388	284,061,519	50,682,869	未払金
過年度未組入れに係る当期組入れ		40,485,860	△ 40,485,860	
5. 図 書	28,411,013	28,114,651	296,362	未払金
過年度未組入れに係る当期組入れ		140,590	△ 140,590	
6. 建設仮勘定	10,805,304,470	10,744,199,470	61,105,000	未払金
計	22,241,642,574	19,385,271,065	2,856,371,509	
当期取崩対象額				
1. 土 地	△ 710,711,750	△ 710,711,750		
2. 建 物	△ 995,674,652	△ 995,674,652		
3. 構 築 物	△ 38,060,500	△ 38,060,500		
4. 教育研究用機器備品	△ 3,839,600,366	△ 3,839,600,366		
5. 管理用機器備品	△ 56,579,870	△ 56,579,870		
6. 図 書	△ 35,571,910	△ 35,571,910		
7. 車 両	△ 14,826,660	△ 14,826,660		
8. 建設仮勘定	△ 163,929,305	△ 163,929,305		
計	△ 5,854,955,013	△ 5,854,955,013		
当期組入額	16,386,687,561	13,530,316,052	2,856,371,509	
当期末残高	250,926,594,588	245,445,112,601	5,481,481,987	
第 4 号 基 本 金				
前期繰越高	8,852,570,862	8,852,570,862	0	
当期組入対象額	374,504,574	374,504,574	0	
当期組入額	374,504,574	374,504,574	0	
当期末残高	9,227,075,436	9,227,075,436	0	
合 計				
前期繰越高	—	240,767,367,411	2,625,110,478	
当期組入額	—	13,904,820,626		
当期末残高	—	254,672,188,037	5,481,481,987	

収益事業に係る計算書類

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

学校法人 慈恵大学 収益事業部門

(収益事業会計)

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	61,640,581	流動負債	25,906,590
預金	61,640,581	未払金	17,990,731
		返金負債	2,383,776
		賞与引当金	5,532,083
		負債合計	25,906,590
固定資産	1,024,096,313	純資産の部	金額
有形固定資産	1,024,096,313	元入金	1,079,139,537
土地	710,711,750	利益剰余金	△ 19,309,233
建物	510,186,450	繰越利益剰余金	△ 19,309,233
減価償却累計額	△ 196,801,887	純資産合計	1,059,830,304
資産合計	1,085,736,894	負債・純資産合計	1,085,736,894

(収益事業会計)

損益計算書

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額	
営業収益		
受託事業収入	78,547,224	
家賃収入	379,274	
雑収入	61,522	78,988,020
営業費用		
人件費	58,326,658	
委託費	5,915,800	
委託管理費	69,636	
減価償却費	10,057,454	
光熱水費	2,524,003	
営繕費	4,348,036	
印刷製本費	809,960	
賃借料	1,314,548	
保険料	23,784	
租税公課	878,381	
雑費	6,992,051	91,260,311
営業損失		12,272,291
経常損失		12,272,291
学校会計繰入前損失		12,272,291
学校会計繰入金支出		7,036,942
税引前当期純損失		19,309,233
法人税、住民税及び事業税		0
当期純損失		19,309,233

財 産 目 録

令和 8 年 3 月 31 日

学校法人 慈恵大学

科 目	数 量	金 額 (円)
一、基本財産		139,981,546,408
1. 土地	152,535.82m ²	8,338,900,752
(1) 校地	55,499.71m ²	5,142,236,395
(2) その他	97,036.11m ²	3,196,664,357
2. 建物	342,857.40m ²	100,995,114,441
(1) 法人本部	294.90m ²	98,286,280
(2) 一般校舎	72,528.12m ²	15,043,878,447
(3) 図書館	3,882.20m ²	34,147,383
(4) 講堂	1,824.27m ²	463,917,013
(5) その他	264,327.91m ²	85,354,885,318
3. 教具、校具、備品	12,581件	26,016,583,470
4. 図書	352,312冊	2,824,698,741
5. その他		1,806,249,004
二、運用財産		100,200,742,113
1. 現金、預金		38,099,515,400
2. 退職給与引当特定資金		1,600,000,000
3. 有価証券		34,942,127,877
4. 未収入金		23,948,194,926
5. その他		1,610,903,910
三、収益事業会計資産		1,085,736,894
1. 現金、預金		61,640,581
2. 土地	263.28m ²	710,711,750
3. 建物	1,397.87m ²	313,384,563
資産総額		241,268,025,415
四、固定負債		41,604,834,865
1. 長期借入金		19,590,730,000
2. 退職給与引当金		20,907,458,265
3. 長期未払金		1,106,646,600
五、流動負債		29,851,092,750
1. 短期借入金		1,691,570,000
2. 未払金		23,233,482,079
3. 前受金		607,943,500
4. 保証金		1,355,000
5. その他		4,316,742,171
六、収益事業会計負債		7,374,332
1. 流動負債		7,374,332
負債総額		71,463,301,947

独立監査人の監査報告書

令和8年5月26日

学校法人 慈恵大学

理事会 御中

有限責任監査法人 トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 長 村 彌 角

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 栗 井 浩 史

<計算関係書類監査>

計算関係書類に対する監査意見

当監査法人は、私立学校法第104条第2項に基づき、学校法人慈恵大学の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）の計算関係書類（計算書類、すなわち貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、重要な会計方針、その他の注記及びその附属明細書並びに収益事業に係る貸借対照表及び損益計算書をいう。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算関係書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠して、当該計算関係書類に係る期間の財産及び収支の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

計算関係書類に対する監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算関係書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事者の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算関係書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算関係書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算関係書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算関係書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠して計算関係書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算関係書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算関係書類を作成するに当たり、理事者は、継続法人の前提に基づき計算関係書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に基づいて継続法人に関する事項を開示する必要がある場合には、当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算関係書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算関係書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算関係書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算関係書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算関係書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続法人を前提として計算関係書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続法人の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続法人の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算関係書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算関係書類の注記事項が適切でない場合は、計算関係書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続法人として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算関係書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算関係書類の表示、構成及び内容、並びに計算関係書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、私立学校法第 86 条第 1 項及び私立学校法施行規則第 24 条に基づき、学校法人慈恵大学の令和 8 年 3 月 31 日現在の令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで）の財産目録（貸借対照表及び収益事業に係る貸借対照表に対応する項目に限る。以下同じ。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の財産目録が、全ての重要な点において、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠するとともに、貸借対照表と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる学校法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表と整合しているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

令和8年5月26日

学校法人 慈恵大学
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 慈恵大学

監事

西岡 清一郎



監事

三木 修



私たち監事は、私立学校法第52条第1項及び学校法人慈恵大学（以下「法人」という。）寄附行為第30条に基づき、2025年度（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の法人の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行状況に関し、監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

(1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

(2) 事業報告書に掲載されている理事の職務の執行が、法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制、その他学校法人の業務の適正を確保するために必要なものとして私立学校法施行規則第13条各号に掲げる体制の整備に関する理事会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、理事及び職員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。

(3) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「会計監査人の職務の遂行に関する事項」（私立学校法施行規則第37条各号に掲げる事項）の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。尚、子会社である株式会社慈恵実業とその子会社についても同様の対応を実施しました。

以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告書（附属明細書は該当なし）、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

①事業報告書及びその附属明細書は、法令及び寄附行為に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

③内部統制システムに関する理事会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部システムに関する事業報告書の記載内容及び理事の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

会計監査人である有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

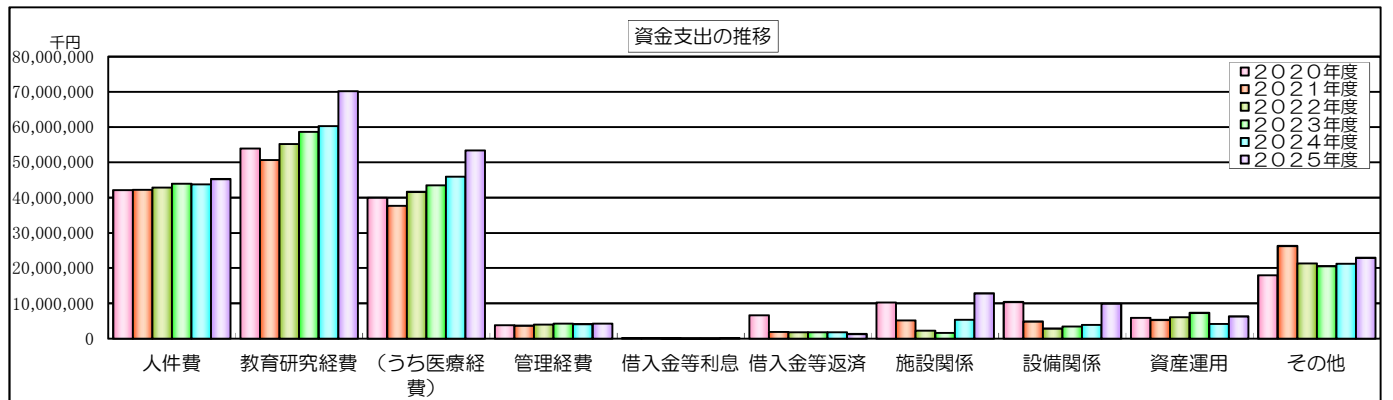
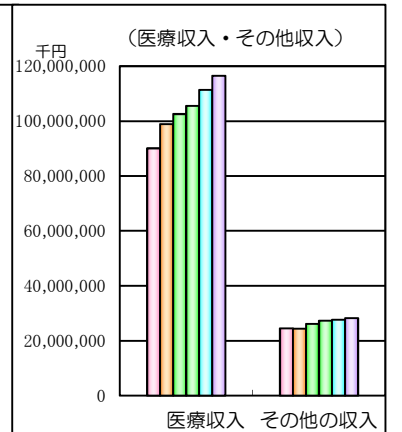
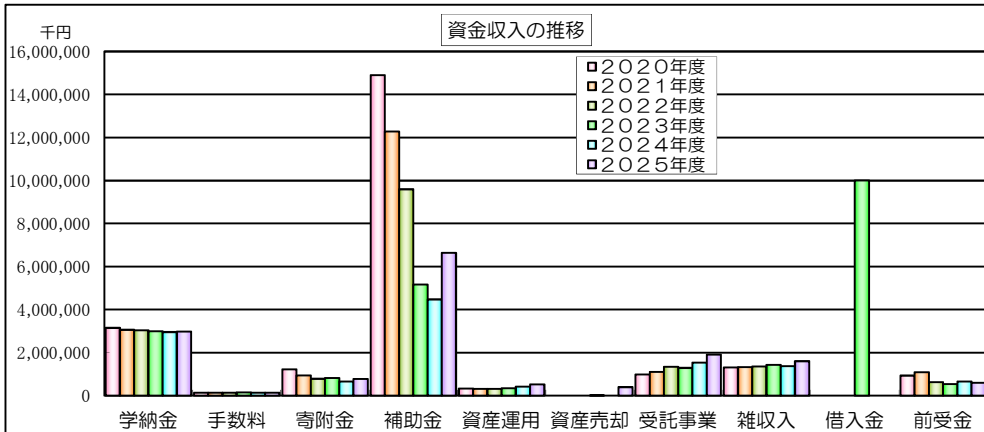
以上

学校法人 慈恵大学計算書 6年間の推移

1. 資金収支計算書 6年間の推移

(単位:千円)

年 度	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	最新年度 前年度との差額
収入の部							
科目							
学生生徒納付金収入	3,148,527	3,060,030	3,035,077	2,992,388	2,954,750	2,976,300	21,550
手数料収入	131,099	138,375	136,956	143,127	139,414	132,499	△6,915
寄付金収入	1,225,573	936,041	781,486	820,438	650,711	779,635	128,924
補助金収入	14,902,865	12,273,500	9,593,649	5,160,235	4,471,941	6,633,417	2,161,476
国庫補助金収入	5,241,384	3,697,174	3,630,891	3,591,242	3,637,451	4,838,250	1,200,799
地方公共団体補助金収入	9,659,180	8,573,626	5,962,758	1,566,893	832,390	1,792,967	960,577
その他補助金収入	2,300	2,700	0	2,100	2,100	2,200	100
資産運用収入	329,785	308,376	318,879	345,115	417,765	523,444	105,678
資産売却収入	0	0	0	1,000	0	393,450	393,450
事業収入	91,052,892	99,986,356	103,893,608	106,864,693	112,908,324	118,409,809	5,501,486
医療収入	90,066,564	98,873,733	102,550,564	105,568,366	111,362,378	116,496,895	5,134,517
受託事業収入	977,489	1,103,290	1,334,718	1,288,259	1,538,618	1,905,878	367,260
収益事業収入	8,839	9,334	8,326	8,067	7,328	7,037	△291
雑収入	1,305,863	1,320,169	1,354,897	1,429,296	1,374,528	1,601,486	226,958
借入金等収入	0	0	0	10,000,000	0	0	0
前受金収入	929,599	1,085,616	623,059	530,776	653,561	591,064	△62,497
その他の収入	24,496,825	24,344,595	26,120,407	27,325,996	27,646,206	28,174,780	528,574
資金収入調整勘定	△19,449,388	△20,148,761	△22,818,544	△20,527,626	△22,084,353	△24,754,049	△2,669,697
前年度繰越支払資金	46,328,320	44,525,507	50,897,981	52,424,355	63,795,761	51,497,074	△12,298,687
収入の部合計	164,401,958	167,829,805	173,937,456	187,509,793	192,928,608	186,958,908	△5,969,700
支出の部							
科目							
人件費支出	42,141,714	42,210,841	42,853,061	43,929,400	43,786,163	45,261,044	1,474,881
教育研究経費支出	53,923,907	50,681,086	55,193,156	58,671,299	60,309,348	70,199,535	9,890,187
教育研究経費支出	14,002,248	13,006,936	13,567,887	15,184,950	14,351,406	16,843,826	2,492,420
医療経費支出	39,921,658	37,674,151	41,625,269	43,486,348	45,957,942	53,355,708	7,397,767
管理経費支出	3,796,260	3,670,647	3,984,069	4,239,391	4,124,359	4,252,933	128,574
借入金等利息支出	195,926	136,877	120,581	109,814	101,558	197,922	96,364
借入金等返済支出	6,602,570	1,900,570	1,778,570	1,778,570	1,778,570	1,306,820	△471,750
施設関係支出	10,221,735	5,193,802	2,231,919	1,607,184	5,370,393	12,843,583	7,473,190
設備関係支出	10,380,030	4,847,853	2,857,634	3,409,863	3,912,333	9,918,545	6,006,211
資産運用支出	5,900,350	5,300,350	6,100,350	7,300,150	4,200,000	6,300,001	2,100,001
その他の支出	17,960,899	26,279,508	21,366,643	20,563,443	21,262,747	22,919,989	1,657,242
資金支出調整勘定	△25,417,806	△20,345,084	△19,554,160	△20,096,013	△21,131,439	△24,340,979	△3,209,540
次年度繰越支払資金	46,328,320	44,525,507	50,897,981	52,424,355	63,795,761	38,099,515	△25,696,245
支出の部合計	172,033,905	164,401,958	167,829,805	173,937,456	187,509,793	186,958,908	△550,885



2. 事業活動収支計算書

(単位:千円)

年 度		2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	最新年度 前年度との差額
教育活動収入の部	教育活動収入							
	学生生徒納付金	3,148,527	3,060,030	3,035,077	2,992,388	2,954,750	2,976,300	21,550
	手数料	131,099	138,375	136,956	143,127	139,414	132,499	△6,915
	寄付金	1,084,073	809,941	706,486	744,438	582,711	713,635	130,924
	経常費等補助金	14,843,701	12,191,369	9,458,320	5,019,967	4,287,688	6,424,885	2,137,197
	国庫補助金	5,227,775	3,643,355	3,576,877	3,532,200	3,512,785	4,812,529	1,299,744
	地方公共団体補助金	9,613,626	8,545,314	5,881,443	1,485,667	772,803	1,610,156	837,353
	学術研究振興資金	2,300	2,700	0	0	2,100	2,200	100
	付随事業収入	91,044,053	99,977,022	103,885,282	106,856,625	112,900,996	118,402,772	5,501,777
	医療収入	90,066,564	98,873,733	102,550,564	105,568,366	111,362,378	116,496,895	5,134,517
	受託事業収入	977,489	1,103,290	1,334,718	1,288,259	1,538,618	1,905,878	367,260
	雑収入	1,305,863	1,320,169	1,355,679	1,429,345	1,377,001	1,610,254	233,253
	教育活動収入計	111,557,316	117,496,906	118,577,800	117,185,891	122,242,559	130,260,345	8,017,786
事業活動支出の部	事業活動支出							
	人件費	42,791,383	43,331,766	43,874,613	43,836,099	44,755,476	45,189,231	433,755
	教育研究経費	58,655,018	63,391,547	66,730,620	68,567,269	71,709,542	78,896,045	7,186,503
	教育研究経費	18,573,537	19,360,779	21,033,378	20,279,551	20,879,923	23,085,551	2,205,628
	医療経費	40,081,481	44,030,768	45,697,241	48,287,718	50,829,619	55,810,494	4,980,875
	管理経費	4,518,398	4,851,778	5,112,575	4,984,506	5,186,988	5,015,122	△171,866
	徴収不能額等	40,287	21,804	43,389	24,694	28,361	24,180	△4,181
	徴収不能引当金繰入額	40,287	21,804	43,389	24,694	28,361	24,180	△4,181
	徴収不能額	0	0	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	106,005,087	111,596,894	115,761,196	117,412,569	121,680,368	129,124,578	7,444,210
教育活動収支差額	5,561,068	5,900,012	2,816,603	△226,678	562,191	1,135,767	573,576	
教育活動外収入の部	教育活動外収入							
	受取利息・配当金	329,785	308,376	318,879	345,115	417,765	523,444	105,678
	収益事業収入	8,839	9,334	8,326	8,067	7,328	7,037	△291
	教育活動外収入計	338,624	317,710	327,205	353,182	425,093	530,481	105,387
	教育活動外支出							
教育活動外支出の部	借入金等利息	136,877	120,581	109,814	101,558	214,116	197,922	△16,194
	教育活動外支出計	136,877	120,581	109,814	101,558	214,116	197,922	△16,194
	教育活動外収支差額	201,747	197,129	217,392	251,624	210,977	332,558	121,581
経常収支差額	5,753,975	6,097,141	3,033,995	24,946	773,169	1,468,326	695,157	
特別収支	特別収入							
	資産売却差額	0	18	0	0	0	382,214	382,214
	その他の特別収入	245,148	264,380	255,359	252,023	289,510	312,667	23,157
	特別収入計	245,148	264,398	255,359	252,023	289,510	694,882	405,372
	特別支出							
	資産処分差額	69,688	37,642	123,189	377,347	153,674	109,088	△44,586
その他の特別支出	0	0	0	0	0	4,204,459	4,204,459	
特別支出計	69,688	37,642	123,189	377,347	153,674	4,313,547	4,159,874	
特別収支差額	175,459	226,756	132,170	△125,324	135,836	△3,618,666	△3,754,502	
[予備費]								
基本金組入前当年度収支差額	5,929,435	6,323,897	3,166,165	△100,378	909,005	△2,150,340	△3,059,345	
基本金組入額合計	△13,155,745	△2,941,889	△2,528,852	△3,740,524	△11,963,837	△13,904,821	△1,940,984	
当年度収支差額	△7,226,311	3,382,008	637,313	△3,840,902	△11,054,831	△16,055,161	△5,000,329	
前年度繰越収支差額	△50,690,272	△57,916,582	△54,534,574	△53,897,261	△57,738,163	△68,792,995	△11,054,831	
基本金取崩額	0	0	0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△57,916,582	△54,534,574	△53,897,261	△57,738,163	△68,792,995	△84,848,155	△16,055,161	
事業活動収入計	112,141,087	118,079,014	119,160,364	117,791,096	122,957,163	131,485,707	8,528,545	
事業活動支出計	106,211,652	111,755,117	115,994,200	117,891,474	122,048,157	133,636,047	11,587,890	

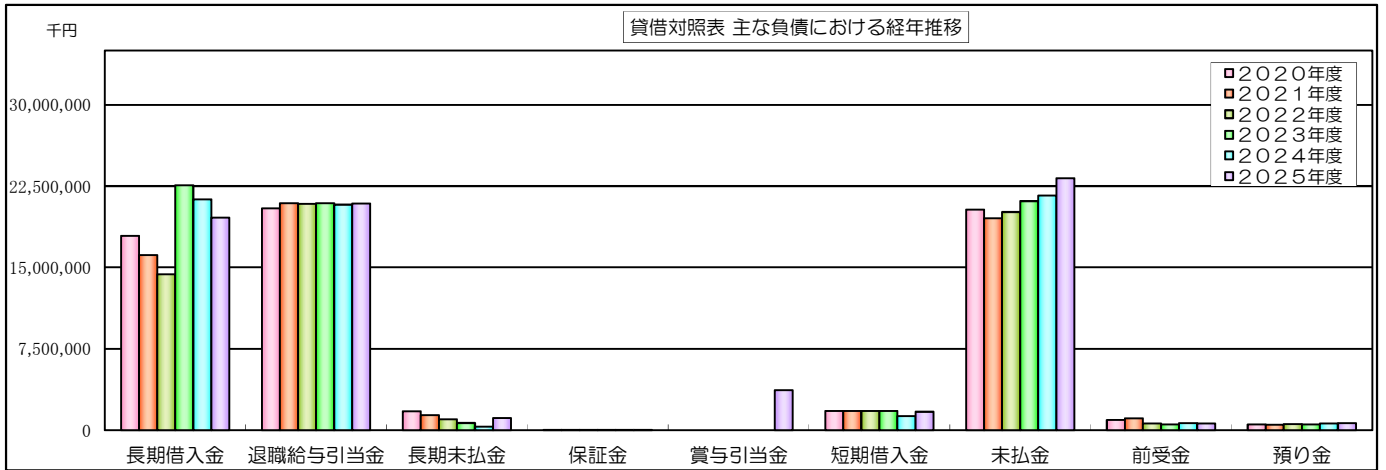
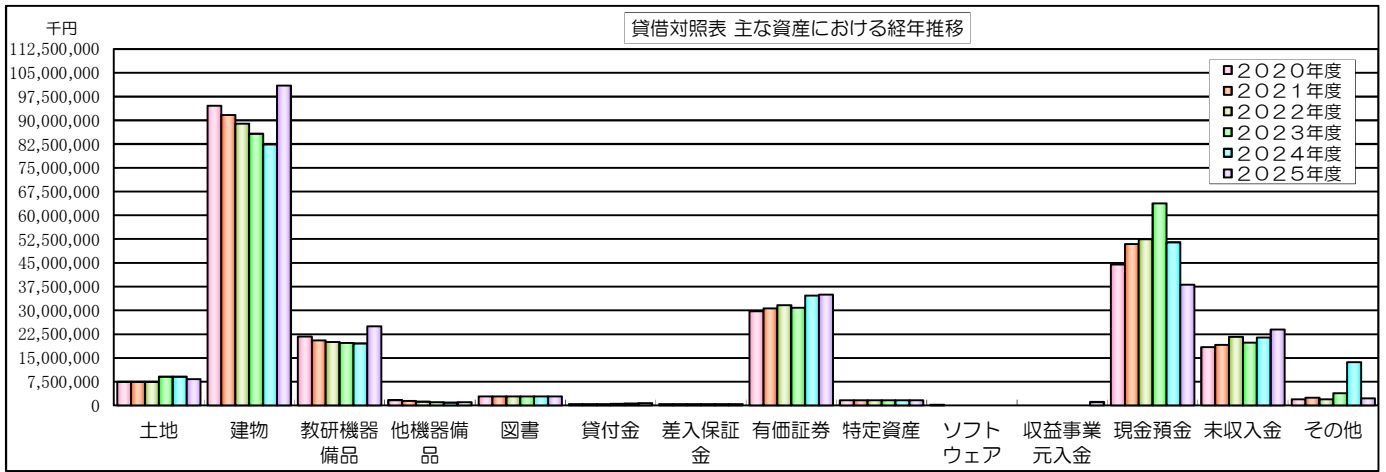
3. 貸借対照表

6年間の推移

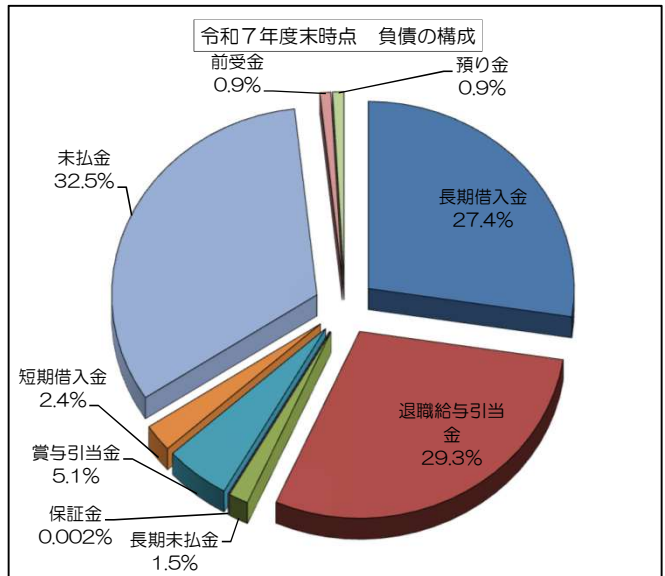
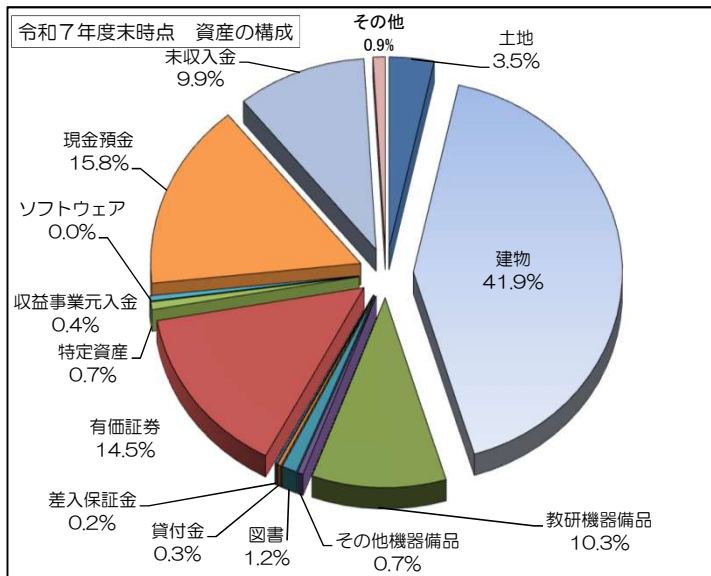
(単位:千円)

年 度 (会計時点)	2020年度 (令和2年度) 2021.3.31	2021年度 (令和3年度) 2022.3.31	2022年度 (令和4年度) 2023.3.31	2023年度 (令和5年度) 2024.3.31	2024年度 (令和6年度) 2025.3.31	2025年度 (令和7年度) 2026.3.31	最新年度 前年度との差額
資産の部							
科目							
固定資産	159,941,019	157,108,162	152,082,389	153,154,496	161,534,651	176,602,814	15,068,163
有形固定資産	128,864,804	125,042,484	120,977,794	120,755,552	126,771,594	138,821,293	12,049,698
土地	7,444,358	7,444,358	7,444,358	9,049,613	9,049,613	8,338,901	△710,712
建物	94,550,246	91,642,494	88,961,508	85,746,645	82,399,165	100,995,114	18,595,949
構築物	319,048	281,011	246,227	218,786	181,473	251,969	70,496
教育研究用機器備品	21,714,136	20,548,793	20,003,494	19,731,333	19,564,555	24,966,792	5,402,237
管理用機器備品	1,673,346	1,392,641	1,180,002	1,009,114	867,444	1,049,791	182,347
図書	2,833,853	2,830,527	2,831,847	2,842,165	2,831,860	2,824,699	△7,161
車輛	14,827	11,861	8,896	9,131	4,565	0	△4,565
建設仮勘定	291,828	867,636	278,300	2,125,604	11,849,757	370,864	△11,478,893
放射性同位元素	23,162	23,162	23,162	23,162	23,162	23,162	0
特定資産	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	0
退職給与引当特定資産	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	0
その他の固定資産	29,476,215	30,465,678	29,504,594	30,798,944	33,163,057	36,181,521	3,018,464
差入保証金	403,611	397,651	397,651	401,615	402,085	402,085	0
有価証券	28,542,827	29,654,363	28,654,363	29,853,363	32,153,363	33,942,128	1,788,765
長期貸付金	372,295	413,664	452,580	543,966	607,609	758,169	150,560
ソフトウェア	157,482	0	0	0	0	0	0
収益事業元入金						1,079,140	1,079,140
流動資産	65,401,613	72,260,380	78,396,991	86,033,796	77,032,564	64,677,146	△12,355,417
現金預金	44,525,507	50,897,981	52,424,355	63,795,761	51,497,074	38,099,515	△13,397,559
未収入金	18,378,009	19,079,635	21,597,145	19,778,012	21,411,025	23,966,727	2,555,702
貯蔵品	1,122,093	1,143,856	1,214,928	1,260,236	1,432,846	1,386,077	△46,769
短期貸付金	0	0	0	0	0	0	0
有価証券	1,200,000	999,850	3,000,000	1,000,000	2,500,000	1,000,000	△1,500,000
仮払金・前払金	176,004	139,058	160,563	199,787	191,619	224,827	33,208
資産の部合計	225,342,632	229,368,542	230,479,380	239,188,292	238,567,215	241,279,960	2,712,746
負債の部							
科目							
固定負債	40,107,613	38,464,158	36,243,584	44,170,775	42,401,573	41,604,835	△796,738
長期借入金	17,924,830	16,146,260	14,367,690	22,589,120	21,282,300	19,590,730	△1,691,570
退職給与引当金	20,447,707	20,926,412	20,871,624	20,921,561	20,791,440	20,907,458	116,018
長期未払金	1,735,077	1,391,486	1,004,270	660,094	327,833	1,106,647	778,814
保証金	0	0	0	0	0	0	0
流動負債	23,559,334	22,904,803	23,070,050	23,952,149	24,191,269	29,851,093	5,659,824
短期借入金	1,778,570	1,778,570	1,778,570	1,778,570	1,306,820	1,691,570	384,750
未払金	20,332,270	19,533,399	20,112,376	21,119,503	21,624,303	23,233,482	1,609,179
前受金	929,599	1,085,616	623,059	530,776	653,161	607,944	△45,217
預り金	517,630	506,312	554,939	522,435	605,860	637,976	32,116
保証金	1,265	905	1,105	865	1,125	1,355	230
賞与引当金						3,678,766	
負債の部合計	63,666,947	61,368,961	59,313,634	68,122,924	66,592,842	71,455,928	4,863,086
純資産の部							
科目							
基本金	219,592,267	222,534,155	225,063,007	228,803,531	240,767,367	254,672,188	13,904,821
第1号基本金	211,433,077	214,374,965	216,679,997	220,057,334	231,914,797	245,445,113	13,530,316
第2号基本金	0	0	0	0	0	0	0
第3号基本金	0	0	0	0	0	0	0
第4号基本金	8,159,190	8,159,190	8,383,010	8,746,197	8,852,571	9,227,075	374,505
繰越収支差額	△57,916,582	△54,534,574	△53,897,261	△57,738,163	△68,792,995	△84,848,155	△16,055,161
翌年度繰越収支差額	△57,916,582	△54,534,574	△53,897,261	△57,738,163	△68,792,995	△84,848,155	16,055,161
負債及び純資産の部 合計	225,342,632	229,368,542	230,479,380	239,188,292	238,567,215	241,279,960	2,712,746

科目等の説明については、別項「計算書類における主な科目について」をご覧ください。



※上記2つのグラフは対比させるために同じ目盛幅を用いています。



主要な財務指標の推移

主要な財務指標の推移

区 分	2021年度 (令和3年 度)	2022年度 (令和4年 度)	2023年度 (令和5年 度)	2024年度 (令和6年 度)	2025年度 (令和7年 度)
事業活動収支関係財務比率（単位：％）					
①事業活動支出比率（事業活動支出/事業活動収入）	94.6%	97.3%	100.1%	99.3%	101.6%
②学生生徒等納付金比率（学生生徒等納付金/経常収入）	2.6%	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%
③寄付金比率（寄付金/事業活動収入）	0.8%	0.7%	0.7%	0.5%	0.6%
④補助金比率（補助金/事業活動収入）	10.4%	8.0%	4.3%	3.5%	4.9%
⑤医療収入比率（医療収入/経常収入）	83.9%	86.2%	89.8%	90.8%	89.1%
⑥人件費比率（人件費/経常収入）	36.8%	36.9%	37.3%	36.5%	34.6%
⑦教育研究経費比率（教育研究経費/経常収入）	53.8%	56.1%	58.3%	58.5%	60.3%
⑧事業活動収支差額比率（100%-事業活動支出比率）	5.4%	2.7%	-0.1%	0.7%	-1.6%
貸借対照表関係財務比率（単位：％）					
⑨流動比率（流動資産/流動負債）	315.5%	339.8%	359.2%	318.4%	216.7%
⑩固定比率（固定資産/純資産）	93.5%	88.9%	89.5%	93.9%	104.0%
⑪固定長期適合率（固定資産/（純資産+固定負債））	76.1%	73.3%	71.2%	75.4%	83.5%
⑫負債比率（総負債/純資産）	36.5%	34.7%	39.8%	38.7%	42.1%
⑬自己資金比率（純資産/総資産）	73.2%	74.3%	71.5%	72.1%	70.4%
⑭積立率 （現預金+有価証券+特定資産）/（減価償却累計額+退職給与引当金+2号基本金+3号基本金）	73.8%	71.6%	78.0%	68.5%	56.1%

*自己資金＝基本金+翌年度繰越収支差額、経常収入＝教育活動収入+教育活動外収入

①事業活動比率について

事業活動支出が事業活動収入に対しどのくらいの割合があるかを示す指標です。100%を超えると当年度の事業活動支出超過を表します。

②学生生徒等納付金比率について

学生生徒等納付金（入学金や授業料等）が経常収入に対してどのくらいの割合があるかを示す指標です。一般の大学における平均値は約50%を占めますが、本学は医療収入の比率が非常に高いため、例年約3%前後となっています。

③寄付金比率

寄付金額が事業活動収入のうち、どのくらいの割合を表します。本学では平成22年度から130年記念事業寄付金を行っています

④補助金比率

国または地方公共団体からの補助金が事業活動収入に対してどのくらいの割合があるかを示します。一般の大学法人においては、約10%を占めますが、本学では医療収入の比率が高いため例年4～5%台となっています。

⑤医療収入比率

医療収入が経常収入に対してどのくらいの割合を占めるかを表します。本学では附属病院の収入が非常に大きく、近年では経常収入の約90%を占めています。

⑥人件費比率

人件費が経常収入に対してどのくらいの割合があるかを表します。

⑦教育研究費率

医療経費を含む教育研究にかかる経費が経常収入に対してどのくらいの割合を示すかを表します。経費には医療経費・減価償却費を含みます。

⑧事業活動収支差額比率

事業活動収入から事業活動支出を差し引いたもので、事業活動収支差額が事業活動収入に対してどのくらいの割合があるかを表します。

⑨流動比率

一年以内に返済しなくてはならない負債に対して、一年以内に現金化できる資産がどのくらいあるかを表します。一般に金融機関等では200%以上あれば優良とされており、高いほど良い指標です。

⑩固定比率

固定資産の純資産に対する割合で、固定資産にどの程度純資産が投下されているか、資金の調達源泉とその用途とを対比させる関係比率です。この比率は低いほど良いとされています。

⑪固定長期適合率

固定資産が長期資金（純資産+固定負債）に対してどのくらいの割合があるかを表します。この比率は100%以下で低いほど良いとされます。

⑫負債比率

この比率は他人資金と純資産との関係を表す比率で、他人資金が純資産を上回っていないかどうかをみる指標です。100%以下で低い方が良いとされます。

⑬自己資金比率

純資産が総資産に対しどのくらいあるかを表す比率です。この比率は高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が純資産を上回っていることを示します。

⑭積立率

学校の経営を安定的に継続するために必要となる運用資産の保有状態を表す比率です。この比率は高い方がよいとされています。

学校法人会計について

1. 学校法人とは？

学校法人とは「私立学校法」にのっとり、私立学校の設置を目的として設立された法人です。建学の精神に基づいた教育と、研究活動等を通じてその成果を社会へ還元していく役割を担っています。本学をはじめとする私立大学はこの「学校法人」として設置・運営がなされています。わが国の高等教育において私立学校が果たしている社会的役割はとて大きく、公共性の高い事業体として位置づけられています。

2. 学校法人会計とは？

学校法人はその事業目的において公共性が高く、企業のように営利を追求するものではありません。そのため、企業会計とは異なる独自の会計形態をとっており、これを学校法人会計といいます。

学校法人はその事業を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金のほかに国や地方公共団体等から経常費の補助を受けています。

所轄庁は学校法人の経営状態を把握するために「私立学校振興助成法」により、「学校法人会計基準」という会計ルールにのっとり会計処理及び計算書類を作成、三種類の計算書（資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表）を提出することを学校法人に対して義務づけています。

本学も計算書を作成するにあたっては「学校法人会計基準」に基づいた計算書類を作成しています。

平成 27 年度に「学校法人会計基準」が一部改正され、より分かり易い計算書を作成することになりました。

3. 学校法人が作成する計算書とは？

「学校法人会計基準」で規定する計算書類は以下の三種類があります。

①資金収支計算書

- 当該会計年度（4月1日～3月31日）に行った諸活動に対応する全ての収入と支出の内容を明らかにするものです。
- 当該年度の収入と支出の内容を明らかにし支払資金（現預金等）の顛末を明らかにするものです。
- 平成 27 年度から資金収支計算書の付属表として活動区分資金収支計算書が新設され、収入と支出を活動内容により「教育活動によるもの」「施設整備等活動によるもの」「その他の活動によるもの」の三つに分けています。

資金収支計算書は学校法人会計基準第 2 章に掲げられた計算書類で、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いものです。前年度から繰り越された支払資金をもとに、当年度の収支の結果、次年度に繰り越される支払資金が確定する計算体系になっています。

②事業活動収支計算書

- 当該年度の収入と支出の内容と均衡状態を明らかにし、経営状況を表します。
- 収入と支出を経常的な収支「教育活動収支」「教育活動外収支」と臨時的な収支「特別収支」の三つに分けています。
- 資金収支計算書では表せない事業活動収入（負債とならない収入）や資金の増減を伴わない取引（各種引当金繰入、減価償却費等）は計上されますが、資本的支出（固定資産取得等）に充てる額は除いて計上します。

事業活動収支計算書は学校法人会計基準第3章に掲げられた計算書類で、企業会計の損益計算書の考え方を基礎にした計算構造により、学校法人の収支バランスをみるものです。

③貸借対照表

- 当該年度末時点での資産、負債、基本金の状況を表し、財政状態を明らかにします。
- 資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支状況を表す一方、貸借対照表は今までの財政活動における積み重ねの結果を表します。

貸借対照表は学校法人会計基準第4章に掲げられており、基本的に企業会計における貸借対照表と同様の様式となっておりますが、学校法人には出資者や株主が存在しないため、貸方は借入金等他人資金以外全て学校法人が維持すべき基本金（自己資金）となります。

学校法人会計においては、固定資産の額が大きいことが特徴で、固定資産、固定負債を流動資産、流動負債より先に並べる固定性配列法で作成することになっています。

4. 学校法人会計と企業会計の違いについて

学校法人は企業のように営利の追求が目的ではありません。

そのため、損益重視の企業会計では経営状況を把握することは難しくなります。

学校法人の収入は極めて制約的で、増加を図ることが難しい非弾力的財政構造となっています。学校法人が事業の持続性と財政の健全性を維持していくためには、長期的な視野に立った事業計画と、それを裏付ける収支均衡の取れた財政計画が必要となります。学校法人はそれを踏まえた予算に基づいた運営をしなければならず、資金・事業活動収支両計算書においては、予算と決算の差異が重視される計算書様式となっています。

これらのことから、学校法人会計は企業会計のように業績の良し悪しを測定するための計算・表示形態ではなく、学校が持続性を確保するための収支均衡状態を目指すのに適した会計制度となっています。

このように、両者の間には学校法人と企業という事業目的からくる違いがあります。

しかし、平成 27 年度からは、事業活動収支計算書が企業会計のように、「本業の損益」「資産運用の損益」「除却損等の特別損益」が分かりやすくなりました。

企業会計にはない学校法人会計特有の主な用語と違いなどについては、以下に説明いたします。

①事業活動収入とは？

事業活動収支計算書で表される収入です。学校法人の収入のうち、負債とならず自己資金となる収入のことです。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入に含まれます。

②事業活動支出とは？

事業活動収支計算書で表される支出のことで、従来の消費支出が事業活動支出になりました。当該年度中に学校法人が消費する費用のことで、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません。引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出になります。

③基本金組入前当年度収支差額とは？

基本金組入前当年度収支差額とは、収入から支出を差し引いて算出されます。平成 27 年度から事業活動収支計算書に表示されることになりました。

当該年度の学校法人における収支状況を表します。事業活動収入 > 事業活動支出であれば収入超過となります。しかし、学校法人である以上、この差額は利潤ではなく基本金の組入れ、施設設備等の取得や借入金の返済、将来の施設設備更新のための引当特定資産の充実等に充てられます。

④基本金について

学校法人の機能を維持するために必要不可欠な資産を表す額です。

基本金は学校法人会計基準において「学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入のうちから組み入れた金額を基本金とする」と明記されています。

つまり、学校法人がその諸活動を行っていくために必要不可欠な資産を継続的に維持していくため、必要な資産を概念的に表したものが基本金です。

学校法人は基本金組入れの対象とすべき資産を定め、これらの資産を自己資金により取得した際に基本金を計上します。

学校法人の機能を維持するために必要不可欠な資産を自己資金による基本金として確保することで、安定的かつ永続的に経営していくことを目指しているのです。

基本金は以下のように第1号基本金から第4号基本金があります。

- ・ **第1号基本金**・・・ 設立や規模の拡大等のために寄付または自己資金で取得した固定資産の額
- ・ **第2号基本金**・・・ 将来取得する固定資産の取得に充てる資産の額
- ・ **第3号基本金**・・・ 基金として継続的に保持・運用する金額
- ・ **第4号基本金**・・・ 恒常的な支払資金に対応する運転資金額

⑤基本金組入れについて

基本金組入前当年度収支差額から学校法人が必要な資産を保持するために基本金として控除することです。他人資本を財源にして資産を取得した場合は事業活動収入を財源にして返済を行った段階で基本金への組入れを行います。

⑥基本金と企業会計における資本金との違いについて

学校法人会計と企業会計の貸借対照表を見ると、貸方にそれぞれ「基本金」と「資本金」という勘定科目があります。両者は似た名称ではありますが、企業会計が投資家の出資額を表すのに対し、学校法人会計は設立時に受け入れた寄付金やその後の事業活動により自己資金から留保した財産を確保していることを裏付けるものです。よって、出資者に財産権がある資本金に対して、基本金は学校法人に財産権があり、寄付者に財産権は生じないことから、似て非なるものです。

計算書類における主な科目について

資金収支計算書・活動区分資金収支計算書及び事業活動収支計算書共通の主な科目

学生生徒納付金収入

授業料・入学金・施設設備資金等、学生・生徒から納入された収入です。

手数料収入

入学試験時や証明書発行時等の手数料収入です。

寄付金収入

金銭その他の資産を寄贈者から贈与されたもので、補助金収入にならない収入です。

金銭による収入は資金収支計算書・活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書のすべての計算書に計上しますが、現物による寄付（機器備品や図書等）は事業活動収支計算書のみ計上します。

なお、活動区分資金収支計算書においては、寄付の目的に応じて、教育活動によるものと施設整備等活動によるものとに分けて計上します。

補助金収入

国や地方公共団体から交付される助成金です。

活動区分資金収支計算書においては、補助の目的に応じて、教育活動によるものと施設整備等活動によるものとに分けて計上します。

資産運用収入

学校法人が所有している施設の賃貸収入や、現預金・有価証券等を運用した際の運用益等の収入です。

事業収入

学校法人の教育・研究活動のうち付随的に生じる事業の収入です。

外部から受託した試験・研究等による収入や、附属病院における医療収入をいいます。

雑収入

上記の収入にあてはまらない収入で、主に学校法人が所有している施設の賃貸収入や、廃品を売却した際の収入、退職金財団の交付を受けた際の収入等を計上しています。

人件費

専任・非常勤教職員、医師などに支給する本俸、期末手当、各種手当等です。本学では資金収支計算書・活動区分資金収支計算書にて退職金を計上しますが、事業活動収支計算書では退職金を計上せず退職給与引当金を計上します。

教育研究経費

教育・研究やそれに関連する支出です。また、附属病院の医療に関連する支出も含まれます。

主に消耗品費や委託費、光熱水費、薬品費等の医療経費などがあります。

事業活動収支計算書では、減価償却費も含まれます。

管理経費

総務・人事等教育研究活動以外の活動に支出した経費です。

教育研究経費と共通の科目以外に、税金を表す公租公課、福利厚生を経費などがあります。

資金収支計算書だけに用いられる主な科目

前受金収入

翌年度の活動に対する収入で、授業料や入学金等が当期に入金された際に計上します。

その他の収入

有価証券償還時の収入や、貸付金の回収、仮払金・保証金を受け入れた際や、引当金等を繰り入れた際に計上します。

資金収入・支出調整勘定

資金収支計算書・活動区分資金収支計算書は、その年度の諸活動に伴う全ての収支と支払資金のてん末（残高）が明らかになるものです。

しかし、当期の収支の中には翌年度に入学する学生からの入金（前受金）や前期に発生した支出（未払金）などを計上する一方、当期の活動への対価として前期に入金した当年度入学生からの収入等を加えなくてはなりません。

このように、資金の実際の収支を当年度の諸活動に対応する収支に修正するために用いる科目として資金収入及び支出調整勘定を設けています。

資金収入調整勘定

期末未収入金…当期収入とすべき収入のうち入金が翌期以降になるものです。

前期末前受金…当期収入とすべき収入のうち前期までに入金が済んでいるものです。

資金支出調整勘定

期末未払金…当期に支払うべき支出のうち、翌期以降に支払うものです。

前期末前払金…当期に支払うべき支出のうち、前期までに支払済みのものです。

施設関係支出

学校法人が使用する土地、建物、構築物、建設仮勘定等、施設を取得する際の支出です。

建物においては附属する施設設備への支出を含みます。

建設仮勘定は建物及び構築物等が完成するまでの支出を表し、完成時点で本来の科目に振り替えます。

本学においては取得価額により表しています。

設備関係支出

教具など教育研究用の機器備品、医療器械、その他の機器備品、図書、車輛、ソフトウェアへの支出です。

機器備品・医療器械については、本学では耐用年数1年以上、20万円以上のものを計上します。

事業活動収支計算書にのみ用いられる主な科目

事業活動収入

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、医療収入等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入のことです。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

事業活動支出

人件費、教育研究経費、医療経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません。引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出になります。

資産売却差額

資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を上回った場合、その額を計上します。

資産処分差額

資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を下回った場合、その額を計上します。

徴収不能額

得るべき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。

徴収不能引当金繰入額

本来得るべき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合に計上します。

減価償却額

固定資産の価値は年々減少します。その減少分を取得原価から毎年経費として事業活動支出に配分することをいいます。学校法人会計では定額法を用いて減価償却を行うことになっています。土地と図書については減価償却をしません。尚、これらは現金の支出を伴いません。

基本金組入額

学校法人が必要な資産を保持するために基本金として、基本金組入前当年度収支差額から控除する金額のことで、借入金等他人資本を財源にして資産を取得した場合は事業活動収入を財源に返済を行った段階で基本金への組入れを行います。

貸借対照表に用いられる主な科目

建設仮勘定

有形固定資産を取得する際の代金等を完成までの間、包括的に支払っている場合に計上します。完成した際に本来該当する科目に振替ます。

差入保証金

賃貸建物等の契約時に必要な保証金として預け入れたものです。

有価証券

国債や社債、株式などを会計年度時点1年を超えて保有するものは固定資産に計上します。また、一時的な保有の場合は流動資産に計上します。

特定預金又は特定資産

校舎その他の施設の増設や、退職金の支払い等将来における特定目的の支出に備えるために資金を留保した際に設ける科目です。これら資金留保は長期的な資金計画に基づき決定・実施されます。

借入金

金融機関等からの借入金のうち、返済期限が年度末時点で1年を超えて到来するものを長期借入金、1年以内に到来するものを短期借入金といいます。

預り金

給料時の源泉所得税や住民税など学校法人の事業活動収入にならずに、他に支払うために一時的に金銭を受入れた際に計上します。

繰越収支差額

当期以前の各年度の事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額の累計額です。